

## 最終報告書 第3回野迫川村 奈良女子大学塾

### 目次

1. 概要 .....	2
2. 4日間のスケジュール .....	2
3. 内容詳細 .....	3
3. 1 学習 .....	3
3. 2 スポーツ .....	3
3. 3 パソコン教室 .....	4
3. 4 お菓子作り .....	4
3. 5 落語教室 .....	4
4. 児童生徒向けアンケート（無記名回答。回収数8枚） .....	5
4. 1 集計結果 .....	5
4. 2 自由記述内容 .....	6
次回してほしいことは何か .....	6
感想 .....	6
5 参加大学生反省会での意見、感想 .....	7
5. 1 学習について .....	7
5. 3 教育の質向上について .....	7
6. 次回野迫川塾へ提案 .....	7

## 1. 概要

- ・ 期間 2017年3月27日(月)～30日(木) の4日間
- ・ 主催 奈良女子大学
- ・ 対象 野迫川村に住む小中学生
- ・ 参加人数 小中学生8名(小学生4名 中学生4名)  
大学生6名(学部2回生1名 3回生4名、院生1名)  
監督教職員2名(27日,28日 小西、29日,30日 中山)
- ・ 場所 奈良女子大学野迫川村交流センター  
(旧野迫川中学校2階)
- ・ 内容 ①学習 ②スポーツ ③パソコン教室 ④クッキング ⑤落語教室

## 2. 4日間のスケジュール

時間	基本の流れ
08:00	交流センター着 教室で始めの会
午前	学習 開始～9:30、9:45～10:45、11:00～12:00
12:00	昼休み
午後	・希望者は学習 13:00～14:00、14:15～15:15、15:30～16:30 ・それ以外の方はレクリエーション(下記参照)
16:30	帰りの会
17:00	帰りのバス乗車

〈レクリエーション内容〉

27日 豆腐ドーナツ作り、パソコン教室

28日 落語教室、パソコン教室

29日 パソコン教室、スポーツ

30日 パソコン教室成果発表、スポーツ

### 3. 内容詳細

#### 3. 1 学習

午前中は全員学習時間とした。希望者(中学生)は午後も学習時間とした。春休みの宿題もしくは大学生が選んだワークを解いてもらい、分からないところを大学生に個別に質問、1題終わるごとに採点する形式で学習を進めた。

今回は一日に解く問題数をあらかじめ決めておき、もし達成できなければ宿題にするという形式で勉強意欲の向上と集中力の持続を図った。また前回の反省から全員に学習机を使用させ、静かに学習できる環境を整えた。

反省点としては今回ノルマ制にすることで小学生の勉強への姿勢が予想以上に良くなり、時間が余りがちになった。次回からより内容の充実したワークブックの購入を検討すべきである。



#### 3. 2 スポーツ

外で氷鬼、だるまさんが転んだなどを行った。広いグラウンドを使ったため、前回実施を避けた氷鬼も衝突等の事故なくできた。また最終日には体育館でバレーボール、ドッジボール、花一匁をした。大きなけがもなくみんなで楽しめたと思う。次回もグラウンドと体育館でスポーツの内容を分けて実施するとよい。



だるまさんが転んだの様子→

### 3. 3 パソコン教室

小学生と中学生がちょうど同数であったため、小中学生1名ずつ計2名のチームを組んでもらい、パワーポイントを利用したプレゼン大会をした。テーマは「野迫川村のよいところ」で優勝チームにはお菓子の詰め合わせのような景品を用意した。(なおプレゼンの審査は中山先生にいただいた)

中学生は小学生へとパソコンの使い方を教えることで、よりパソコン技術が向上し、小学生は身近な中学生から指導してもらうことによって、とても楽しんで課題に取り組めたと思う。



↑パワーポイント作成中



↑プレゼンの様子



↑優勝チームに景品の授与

### 3. 4 お菓子作り

たこ焼き器とホットケーキミックス、豆腐を使い、ドーナツを作った。油を使うため、やけど等のけががないよう嚴重に注意をした。日頃料理に興味のある子も楽しくクッキングに取り組めた。小学生4人に大学生2人が付いていたため目が行き届きやすかった。

反省点としては、野迫川村のあまりの気温の低さに豆腐が凍り、始めクッキングの工程に支障がでたため、食材の管理の方法をよく考慮すべきだった。また中学生でクッキングをしたかったが言い出せなかった子がいた。次回は希望をしっかり聞くべきである。

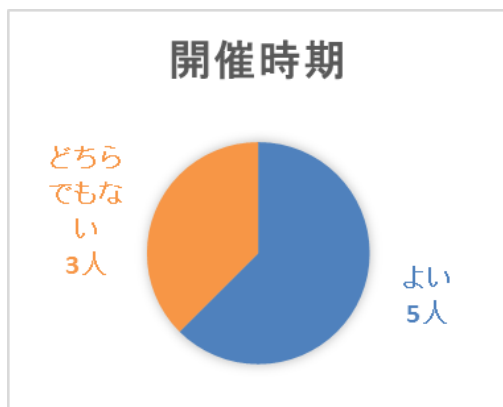
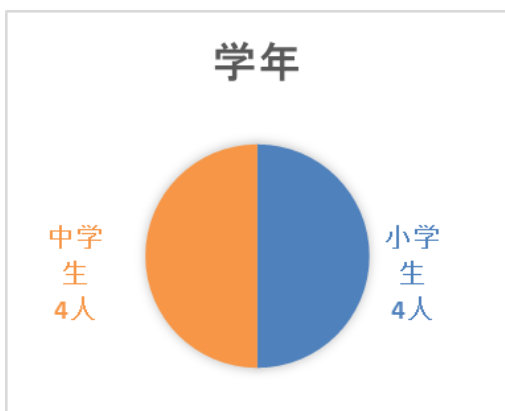
### 3. 5 落語教室

笑福亭竹林さんをお呼びして、落語教室を開催した。落語についての簡単な説明をしていただき、「時うどん」という落語を披露していただいた。アンケートの感想より、全員が楽しめたとわかった。また落語の勉強にもなり、とてもよかったと思う。



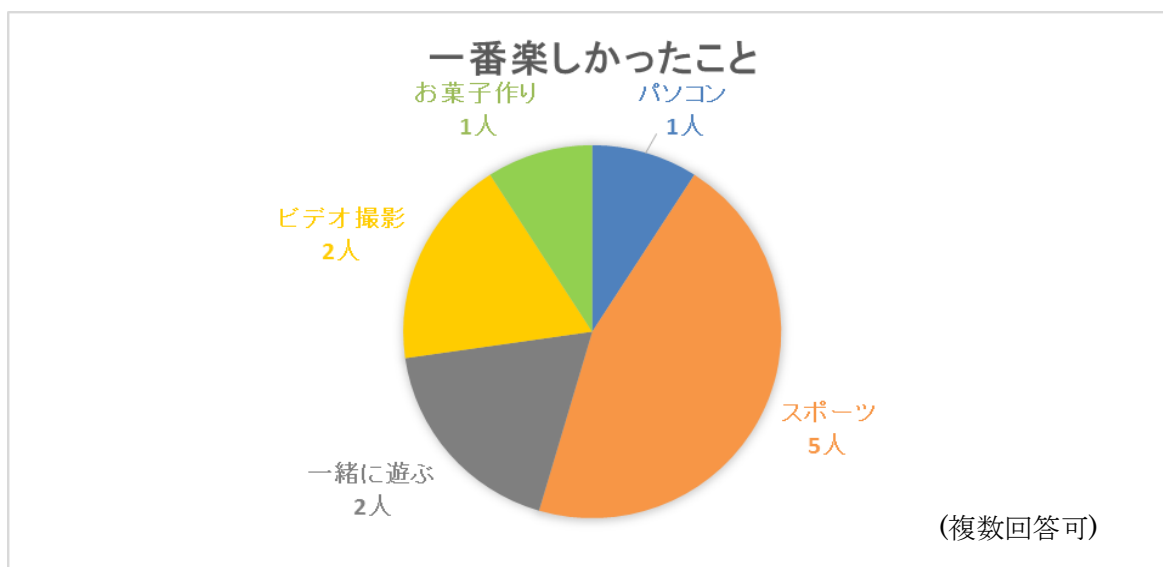
4. 児童生徒向けアンケート（無記名回答。回収数9枚）

4. 1 集計結果



今回は開催時期について特に意見はなかった。

中学生は全員難しいと感じたようだ。中学生のワークブックで5科そろっているものはなかなか無いので、次回は科目をしぼって基礎を復習するのが望ましい。



#### 4. 2 自由記述内容

##### 次回してほしいことは何か

- ・ 大学生全員でおどってほしい
- ・ 散歩してほしい
- ・ もっと遊ぶのを増やしてほしい
- ・ ずっと遊びたい
- ・ もっと体を動かしたい
- ・ 今回はとてもベストでした
- ・ 参加型の勉強をしたい
- ・ できれば何人来て、誰が何日来るか知りたい

##### 感想

- ・ とても面白かった。教え方がわかりやすかった。
- ・ 勉強もけっこうできたと思う。楽しかった！！
- ・ もっと遊びたい
- ・ 全部楽しかったです
- ・ 春休みはどうしても勉強したくなくなるので、この塾に参加して時間を有意義に使って2年生の復習ができてよかった。
- ・ おかげで2年間の復習ができました。知っていることもこうした方がよい、などもわかったのでよかったです。
- ・ こういう機会があってよかった
- ・ 大学生といろんな思い出ができて、すごく楽しませてもらいました。面白かったです。

## 5. 参加大学生反省会で出た意見、感想

### 5. 1 学習について

- ・ ワークブックの内容の充実を検討。
- ・ 塾自体の時間の短縮化、もしくは期間の縮小。(例：9時～16時)
- ・ 学習機のみ使用は生徒の集中力の向上につながったと思う。
- ・ 朝の会でしっかりその日の連絡やあいさつをすることでメリハリを持たせた。
- ・ キャスター付きの椅子は危ないと思う。
- ・ 小学低学年には優しく見守ってくださるちょっと年配の人が必要

### 5. 2 リスク回避について

- ・ もし子供たちがけがをしてしまったら、と考えると私たちだけでは責任が重すぎるので、誰か大人にずっといてほしかった。
- ・ 子どもたちに声かけや安全への配慮ができて、今回大きなけが人がでなかったのほっとした。

### 5. 3 教育の質向上について

- ・ パソコンゲームの時間を短く区切る。ゲームに夢中になりすぎる傾向がある。
- ・ 毎日反省会をして、子どもの様子を共有して次の日の作戦を立てていたのはすごく良かった。
- ・ PC ルームの使用方法を定める。

## 6. 次回野迫川塾へ提案

- ・ 救急箱の購入品として氷嚢。
- ・ 小学生にはぬりえ等の知能パズルが付いたワークブック。
- ・ 中学生には基礎中心ワークブック(5科そろってなくてもいい、事前に集中してやりたい教科を選択してもらおう等)
- ・ 学力向上のため、勉強に集中したい子が静かに勉強できる環境作りを心がける。
- ・ アンケートで出た、次回やりたいことも参考に企画する。
- ・ 塾自体の時間の短縮、もしくは期間の短縮。(例：9時～16時)
- ・ 本を購入もしくは持参することにより読書の時間を設ける。
- ・ 50分授業 10分休憩。
- ・ 次回スポーツ企画(仮)：ダンスを練習してビデオ撮影、上映会。
- ・ 次回パソコン教室(仮)：フォトショップを使い、写真を加工、出来上がった写真を印刷